

- 003 推薦の言葉 | 刊行によせて／田辺 新一
 004 はじめに | 光・温熱・気流とかたちの関係／脇坂 圭一
 006 目次

1 章 007 シンポジウムをとおして知る環境シミュレーションを活かした建築デザイン手法

第1回 シンポジウム

- 010 レクチャーA | 中川 純／建築環境デザインを科学する
 016 レクチャーB | 谷口 景一朗／環境シミュレーションと建築設計の横断
 024 レクチャーC | 墓 炎佑／太陽エネルギーの有効活用
 028 ディスカッション | 中川 純×谷口 景一朗×墓 炎佑 + 脇坂 圭一×天内 大樹×亀井 晓子

第2回 シンポジウム

- 036 レクチャーA | 小泉 雅生／フィジックス・デザイン
 042 レクチャーB | 富樫 英介／設備/人間/環境
 048 レクチャーC | 重村 珠穂／コンピュータ技術を利用した環境デザイン
 054 ディスカッション | 小泉 雅生×富樫 英介×重村 珠穂 + 脇坂 圭一×亀井 晓子

第3回 シンポジウム

- 062 レクチャーA | 秋元 孝之／ZEB/ZEH SHIFTと環境デザイン
 068 レクチャーB | 川島 範久／環境シミュレーションを活用して「自然と繋がるDelightfulな建築」をデザインする
 074 レクチャーC | 清野 新／What is "Building Physics"?
 084 ディスカッション | 秋元 孝之×川島 範久×清野 新 + 脇坂 圭一×天内 大樹

2 章 091 ケーススタディから見た環境シミュレーションを活かした建築デザイン手法

- 092 環境シミュレーションを活かした設計プロセス
 097 光・熱・気流 環境シミュレーションを活かした建築デザイン手法
 098 事例 1 住宅 | 下馬の住宅／スタジオノラ + 望月 蓉平 + 加瀬 美和子
 106 事例 2 住宅 | 微気候の家／レビ設計室
 114 事例 3 住宅 | SHOCHIKUCHO HOUSE／西沢立衛建築設計事務所 + Arup
 122 事例 4 住宅 | ソトマで育てる、ソトマでつながる(B棟)
 / 名古屋大学脇坂圭一研究室／ヒュッゲ・デザイン・ラボ
 130 事例 5 住宅 | 一宮のノコギリ屋根／川島範久建築設計事務所
 138 事例 6 住宅 | 不均質な家～201号室リノベーション／脇坂圭一アーキテクツ
 144 事例 7 非住宅 | 横浜市港南区総合庁舎／小泉アトリエ + Arup
 152 事例 8 非住宅 | 東急コミュニケーションズ技術研修センターNOTIA
 / 清水建設 + 秋元 孝之
 162 事例 9 非住宅 | 清水建設北陸支店新社屋／清水建設 + アルゴリズムデザインラボ
 170 事例 10 非住宅 | いしづらの里／公共設計+OMソーラー
 178 事例 11 非住宅 | 静岡理工科大学建築学科棟えんつりー
 / 古谷 誠章 + NASCA + 田辺 新一 + 静岡理工科大学コミュニケーションズチーム

- 186 環境デザインに関するブックレビュー
 188 著者略歴
 190 おわりに
 192 奥付

シンポジウムをとおして知る 環境シミュレーションを活かした 建築デザイン手法

本章は、シンポジウム「静岡建築茶会 | 建築環境デザインを科学する！」（浜松、袋井、静岡にて開催）における、各回3名、計9人の登壇者による講演とモデレーターを加えたディスカッションを元にしたドキュメントである。

各回では、建築家、環境・設備系研究者・設計者、企業における実務者を招聘し、建築的思想や設計手法、環境の捉え方について、それぞれのスタンスが表明された。各回のテーマとして環境要素のうち熱、気流、光を個別に掲げていたものの、実際には、空間において三つの環境要素は相互に関係し合い、それらを切り分ることが困難であり、複合的・統合的に解くべき要素であることを改めて認識することとなった。

以下に各回の登壇者およびモデレーターを挙げる。

■ 第1回シンポジウム | 浜松

- レクチャー A 中川 純
 レクチャー B 谷口 景一郎
 レクチャー C 墓 炎佑(のひよんう)
 モデレーター 脇坂 圭一×天内 大樹×亀井 晓子

■ 第2回シンポジウム | 袋井

- レクチャー A 小泉 雅生
 レクチャー B 富樫 英介
 レクチャー C 重村 珠穂
 モデレーター 脇坂 圭一×亀井 晓子

■ 第3回シンポジウム | 静岡

- レクチャー A 秋元 孝之
 レクチャー B 川島 範久
 レクチャー C 清野 新
 モデレーター 脇坂 圭一×天内 大樹